

令和4年度第2回釧路市社会教育委員会議【会議録】

日時 令和5年2月2日(木)10:00～10:45

場所 釧路市生涯学習センター801号室

1. 出席委員 15名中12名出席

石田憲一副委員長、大久保貢委員、小川一法委員、加賀谷淑子委員
久原陽子委員、佐山由起子委員、田中達也委員、田丸典彦委員長
中西紗織委員、中野彌委員、名塚ちひろ委員、藤原節男委員
(欠席3名:大嶋春香委員、小山礼子委員、濱口憲太委員)

2. 市出席者

岡部教育長、工藤生涯学習部長、澤口生涯学習部次長(生涯学習課長)
塩田美術館長、島スポーツ課長、松本博物館長、加藤学芸専門員
平野動物園ふれあい主幹、北村阿寒生涯学習課長、朴音別生涯学習課長
森教育支援課主幹、外崎青少年育成センター所長、伊藤生涯学習課長補佐
田井音別生涯学習課長補佐、守田主査、牧野主任、大戸主事 計17名

3. 議事

- (1) 釧路市社会教育推進計画第4次(令和3年度)実施計画の評価結果について
- (2) 令和4年度各課所管事業実施結果について
- (3) 令和5年度開催の会議及び研修について
- (4) その他

4. 議事説明内容と質問等

議事(1) 釧路市社会教育推進計画第4次(令和3年度)実施計画の評価結果について

生涯学習課より、令和3年度実施事業における評価結果について、令和2年度との評価比較からみる分析を基に説明。

【意見】

委員: 計画において、各課の事業が施策をまたがり重複しているものがあるので、計画を評価する立場としては評価しづらいところがあり何とか解消できないか。また、社会教育と学校教育の連携を図り、事業の問題点に対する解決と工夫を進めていくべきと感じた。

事務局: 令和4年度事業も既に終盤を迎えているが、現計画において重複事業を解消するのは困難であり、次回の評価も同様の問題が生じるものと思われる。現在策定している計画においては評価を考慮しながら策定を進めてきており問題は解消されるものと考えているのでご理解いただきたい。また、社会教育推進計画の基本方針Ⅰについては、市長部局の関係課や学校教育支援課が所管する事業が大半を占めることもあり、市長部局や学校教育部としっかり連携を図りながら進めていきたい。

議事(2)令和4年度各課所管事業結果について

生涯学習課 ①2023「くしろ20歳のつどい」の開催について

②「エンジン 02in 釧路」の開催について

③アイヌ文化振興事業について

美術館 ①美術館企画展について

スポーツ課 ①「第50回釧路湿原マラソン」の開催について

②社会体育施設における広告事業について

博物館 ①アイヌ文化振興事業について

②春採湖に生息するヒブナに係る論文発表について

③台湾炭鉱博物館との友好館協定締結について

動物園 ①アイヌ文化振興事業について

阿寒生涯学習課 ①「タンチョウ」「阿寒湖のマリモ」特別天然記念物指定70周年事業について

音別生涯学習課 ①各種スポーツ大会の共催実施について

教育支援課 ①学校のあり方検討事業について

【質問】

①アイヌ文化振興事業について

委員:アイヌ文化振興事業について、ヒグマ舎改修実施設計業務委託と中央広場再整備実施設計業務委託はアイヌ文化とどのような関係性があるのか教えてほしい。

動物園:現在、釧路市動物園にはヒグマがいない状態であるが、アイヌ文化においてヒグマは「キムンカムイ(神様)」として崇められており、ヒグマ舎を改修する中でヒグマを新たに迎え入れようと考えている。また、中央広場を再整備することで、アイヌ文化を紹介するスペースを確保するほか、関連イベントの開催を予定していることから、アイヌ文化振興に資する事業と位置付けている。

②春採湖に生息するヒブナに係る論文発表について

委員:ヒブナがフナと金魚との交雑種ということについて、天然記念物指定は取り消されないとの見解のようだが、今後、指定は解除されることはないのか。

博物館:天然記念物の指定を受けている宮城県魚沼に生息する鉄魚(テツギヨ)も、ヒブナと同様にフナと金魚との交雑種であることがDNA解析で分かったが、指定は取り消されておらず、ヒブナも取り消されないものと考えている。

議事(3)令和5年度開催の会議及び研修について

生涯学習課より、社会教育委員に関わる令和5年度開催の会議や研修会等について説明した。

【質問なし】

議事(5)その他

特になし